

## JFUNU Newsletter

公益財団法人 国連大学協力会

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349

URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail [jf@unu.edu](mailto:jf@unu.edu)

●JFUNU STUDY TOURを開始しました

平和な世界へ

能の世界へ

## JFUNU STUDY TOUR ONLINE開催

国連大学協力会では、毎年、国連大学サステナビリティ高等研究所の大学院生やフェローの方々を招待してStudy Tourを実施しています。

モノづくりの現場や歴史ある文化を実体験することで日本への理解を深めてもらってききましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に見舞われた今年は、Online で体験していただきました。

## ◇平和な世界へ

広島原爆ドームからほど近い場所にある  
広島平和記念資料館。

その資料館の啓発課にご協力をいただき、  
7月14日に、Onlineでの被爆者体験講話会を  
開催。大学院生やフェロー等18名が参加し  
ました。

今回ご登壇くださったのは、小倉桂子さん。  
8歳のときに爆心地より2.4キロの広島市内で  
被爆されたそうです。たいへん流暢な英語で  
当時の様子を語ってくださいました。

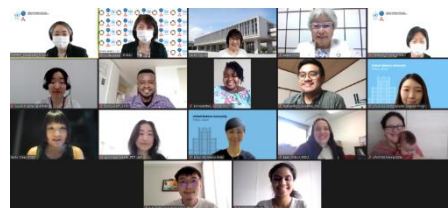
その凄惨なご体験にもかかわらず、物静かに  
語られるご様子に、いつの間にか皆引き  
込まれてしまいました。30分の講話の後、  
啓発課の岡崎裕美さんも交えて、大学院生  
やフェロー等の皆さんと懇談し、平和な世界  
の構築へむけての活発な意見交換が繰り広  
げられました。

Let All the Souls Here Rest in  
Peace;  
For We Shall Not Repeat the Evil.



324,129 names have been recorded as of August 2020

上: 当日のスライド  
右が小倉桂子さん  
右: 参加者と記念撮影



大学院生やフェロー等の皆さんからの反響も大きく、

・“Authentic words and messages from the speaker touched myself. I was also fascinated by stories about the promotional activities abroad by the speaker and the facilitators.”

・“It was truly humbling to experience the testimony of Ms. Ogura, it was my very first time hearing a survivor's testimony. I realized that these kind of testimonies are invaluable and should become more known. Especially in our time, when events happens so fast and are forgotten soon.”

・“I was surprised that the testimony was so direct, honest. Ms Ogura's recounting felt like traveling in time, and I felt her words gave a sense of what it must have felt like.”

・“The survivor's narration of what she experienced on the day of the bombing was enthralling”

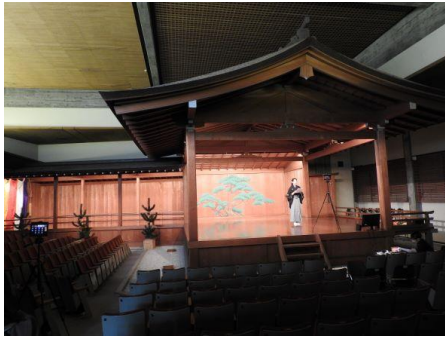
というような感想が寄せられました。まさに時間旅行をした90分でした。

## ◇能の世界へ

日本人にもあまり馴染みのない能楽。その能楽の世界へ大学院生達が飛び込みました。

観世流シテ方である梅若家四世梅若実氏(五十六世当主)のご長女梅若幸子さんにご協力をいただき、7月13日、東中野にある梅若家の能楽堂からOnlineによる能楽鑑賞会を開催いたしました。

人間国宝でもある当主梅若実氏のインタビュー動画に続き、能楽の歴史や能の面や装束についての説明を受けると、次はなんと「謡(うたい)」と「すり足」の体験が待っていました。指導を受けながら、「葵上」の一部に挑戦。見事参加者全員によるパフォーマンスが完成いたしました。



会場となった梅若能楽学院会館の能舞台

- ・修士課程学生 “Singing out loud and standing up in front of screen was not easy, but it was precious experience.”
- ・“I loved the whole event but particularly the part in which we learned how to sing Lady Aoi.”
- ・博士課程学生 “I absolutely loved that it was so interactive, and that we had a chance to experience rehearsing ourselves.”
- ・“It was a wonderful event, even though it was through Zoom, it was still very lively and felt close to being there. Thank you for organizing it!”
- ・リサーチフェロー “I enjoyed how the cultural practices are being passed down through generations.”

あっという間の90分間でしたが とても楽しそうでした。

### —鑑賞会の舞台裏(現場から)—

今回は能楽堂にJFUNUの職員が出向き、鑑賞会の準備段階から一部始終を見守りました。にぎやかな都心に近い場所にもかかわらず、能楽堂の中は凜とした空気の流れる空間でした。梅若家に代々伝わる貴重な能面や装束の数々をご披露いただきましたが、コロナ禍が落ち着いたら、学生の皆さまにはこの雰囲気を感じてほしいと強く思いました。



国連大学を支援しませんか？

国連大学協力会を通じて国連大学を支援できます

国連大学  
大学院生への  
奨学金助成

国連大学の  
活動への助成

～継続寄付(賛助会員)～

～単発寄付～

- ・毎年継続して、一定額をご支援いただく制度です。
- ・会員有効期間は1年間で、1月1日より同年12月31日です。

- ・単発の寄付を随時受け入れております。
- ・ご寄付額はご自由に設定いただけます。

この他(遺贈など)  
についてはこちら



本法人への寄付金は、税制上の優遇措置が適用され、所得税の控除(所得控除もしくは税額控除)が受けられます。

<https://www.jfunu.jp/support/>